**令和５年度　法友倶楽部　法曹交流委員会・研修委員会（第７回）議事録**

**文責：山田敬子**

日　　時：　令和５年１１月２０日（月）１２時００分～１３時００分

開催方法：　Ｚｏｏｍ

出 席 者：　本元宏和、北野陽子、土居正人、山田敬子、中塚雄太、中原明日香、入江祥大、菱田優、竹田仁（順不同、敬称略）

【審議事項】

第１　諸橋弁護士の研修（第１回研修企画）について

　１　事前打合せ

　　　１１月６日に諸橋弁護士と入江さん・本元とで実施したことが報告された。

諸橋弁護士にＮＨＫが密着取材中で、取材クルーの同席の可否について打診があった。

→　幹事長にも相談の上、研修会場の記者の同席は構わないが、撮影や懇親会への参加は遠慮してもらう方針に決定し、諸橋弁護士にも連絡済み。

　２　当日（１１月２７日午後６時～）

講師の意向も踏まえ、リアルのみで実施し、録画もしないことを確認。

　ＰＣやホワイトボードを使っての説明を予定しており、資料の配布は予定されていないとのこと。

なお、会場設営や質問者へのマイクの受渡し等の補助者として、司法試験合格者２名が同席することを確認。

３　懇親会について

　　　現在２１名が参加予定。

当初見込んでいたよりも人数が多くなったため、会場は「Ｋａｉ 本店 醸す」を予約済み（入江さん）。

第２　信託研修（第２回研修企画）について

　１　事前打合せ

　　　１１月９日に堀野弁護士と中塚さん・本元とで実施したことが報告された。

２　研修のタイトルについて

講師の提案により、「日弁連『民事信託業務に関するガイドライン』の解説と実務対応研修」と決定。

３　当日（令和６年１月２４日午後６時～）

　　他会派の参加は可とする。

　　部屋は１２０３号室（最大８８名）の部屋を仮予約済み（中塚さん）。

　　ＷＥＢ併用とし、機材（モニター・カメラ・マイク）を確認の上（山田さん）、予約する（中塚さん）。

　　本元が有するＺｏｏｍのアカウントは参加者の上限が１００人のようだが、他会派にも開放するため申込者が１００人を上回ることも考えられる。そこで、３００名まで参加できるアカウントを用意する（本元と常幹）。

　　当日参加者への配布資料が大部になりそうなので、キンコーズ等の利用を検討する。

　　事前の参加は、グーグルフォームを利用し、フォームを用意する（入江さん）。

　　他会派への案内は、幹事長を通して他会派のＭＬに投稿してもらう。

　　冒頭の挨拶は中嶋幹事長、司会は本元、閉会の挨拶は宮崎理事長。

講演時間１００分、質疑応答１０分を予定。

　　案内文は、ＮＰＯ理事長と幹事長の連名にする（中塚さん）。

第３　第３回研修企画について

　　　２月中旬から後半くらいで検討する。

　　　実施する場合のテーマは「ＥＡＰ」（顧客満足度の向上につながる活動で、事務所経営にも好影響を及ぼす内容）。

　　　ただ、２月から３月にかけてジュニア旅行等の行事が続くため、過密日程になるようであれば実施しないことも選択肢の１つ。

　　　実施するとしてもＷＥＢのみとし（講師候補者が山口県弁護士会ということも理由）、準備や実施の負担をできるだけ軽減するとともに、受講者が参加しやすいように配慮する。

第４　事前修習について

　１　当初は修習開始に先立つ２月から３月にかけて３日程度を費やしての実施を想定していたが、合格者に実情を聞いたところ、就職活動や海外エクスターン等で忙しくしている様子。

そのため、３日程度を費やす事前修習を２月から３月にかけて実施することは困難ではないかとの意見が出された。

　２　ただ、合格者は就職活動を兼ねて、また、修習開始後の人脈づくりも兼ねて、実務家との接点を求めていることも確認されたため、別の形での交流の機会を検討した。

そうしたところ、２月下旬に予定されている新入会員歓迎会に合格者が参加できれば、法友倶楽部（大阪弁護士会の会派）の歴史や活動内容を知ってもらえ、また、法友倶楽部会員との交流も図れるのではないかとの意見が出された。

なお、新入会員歓迎会の趣旨は７６期を中心とした新入会員を歓迎し、法友倶楽部に定着してもらうことにあると考えられ、その趣旨とそぐわない活動にならないか、幹事会に諮ることとした。

第５　ベテランと若手との交流について

　　　現時点で妙案が出ず、幹事会等での議論を見守りつつ、引き続き検討することとした。

第６　次回委員会開催予定

　　　追って調整。

　　　以　上